

【概要】

近年、我が国において高齢化社会や医療の高度化を背景に、国民医療費の増大が指摘されている。薬剤師は、適正な医薬品の使用とともに医療費の適正化に貢献することが求められている。本講義では、国民医療費、社会保障、薬価基準における制度等に関する知識を修得するとともに、調剤報酬の算定方法及び薬物療法の経済評価の手法について学修する。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による。